

# 会津美里町

## 第4次総合計画 町民懇談会

①令和7年7月22日(火)

時間:19:00~

会場:新鶴生涯学習センター  
視聴覚室

②令和7年7月23日(水)

時間:19:00~

会場:役場本庁舎2階  
大会議室

③令和7年7月24日(木)

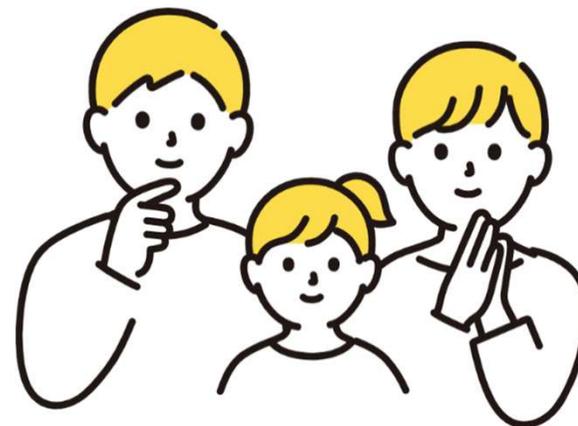
時間:19:00~

会場:本郷生涯学習センター  
研修室A・B

④令和7年7月26日(土)

時間:13:30~

会場:役場本庁舎2階  
大会議室



## 目次

### 1 はじめに

総合計画とは  
総合計画の構成・計画期間  
まちづくりの背景

### 2 基本構想

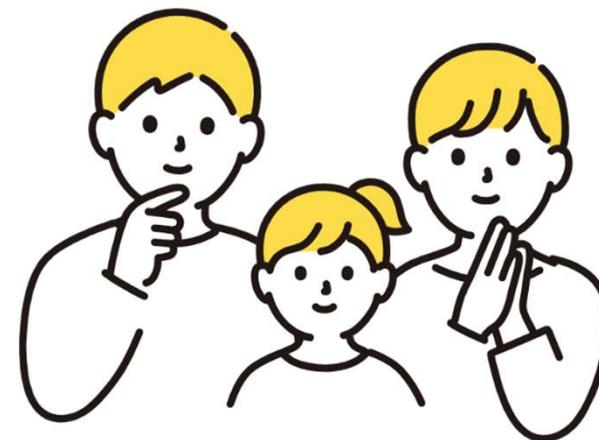
まちづくりの理念・目標  
将来像を実現する政策の柱  
政策体系

# 1.はじめに

# 総合計画とは

「総合計画」とは、自治体の全ての計画の基本となる  
最上位計画です。

みんなが安心して幸せに暮らせるよう、  
町、住民、企業などが取り組むべき  
内容をまとめた計画のことです。



# これまでの総合計画

会津美里町  
第1次振興計画  
平成18～22年度

## 将来像

会津文化の源流  
人が輝き  
夢が広がる  
環境共生のまち

会津美里町  
第2次総合計画  
平成23～27年度

## 将来像

笑顔あふれる未来へ  
自立と共生のまち  
会津美里

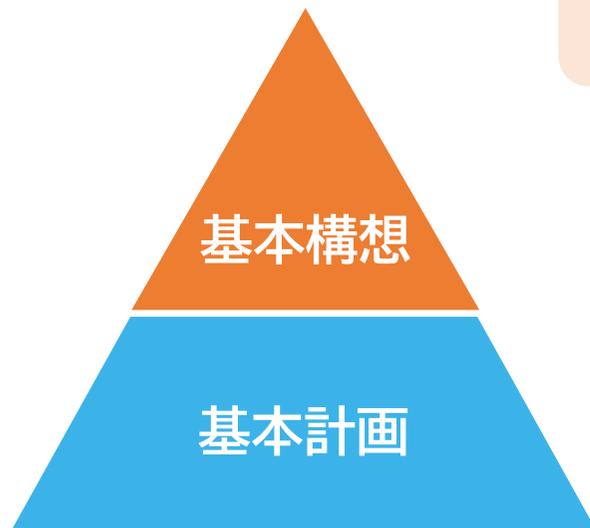
会津美里町  
第3次総合計画  
平成28～令和7年度

## 将来像

まるごといいね！  
会津美里  
～人咲き 花咲き  
文化輝く  
希望あふれる未来へ～

# 総合計画の構成

総合計画は町の将来像などのビジョンを長期的な視点に立って示す基本構想と、町の施策や取組を示す基本計画で構成します。



町の将来像などのビジョンを長期的な視点に立って示すもの

計画期間

令和8(2026)年度～  
令和17(2035)年度(10年間)

基本構想と町の事務事業をつなぎ、町の施策や取組を示すもの

計画期間

令和8(2026)年度～  
令和12(2030)年度(5年間)

# 総合計画の計画期間

年度	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13	令和14	令和15	令和16	令和17
基本構想	第4次総合計画 基本構想									
基本計画	第4次総合計画 基本計画(前期)					第4次総合計画 基本計画(後期)				

# まちづくりの背景

## 会津美里町をとりまく状況の変化と課題

人口減少・少子高齢化

頻発化・激甚化する災害等への  
対応

地域コミュニティ機能の低下・  
つながりの希薄化

公共インフラの老朽化への対応

デジタルトランスフォーメーション  
(DX)への期待

人々の価値観の変化に対応した  
幸せの実現

持続可能性への関心の高まり

## 2.基本構想

01

## まちづくりの理念・目標

### 町の将来像

町の現状や課題、町民の声を踏まえ、  
これからの10年に向けて将来像を検討しました。

もっとつながる ほっと安らぐ ずっと住みたい

美しきふる里 会津美里町

～地域のサステナビリティと住民のウェルビーイングで 10年後「選ばれる町」へ～

# 01

## まちづくりの理念・目標

「**つながる**」は、人や地域の結びつきが強くなる、自然・歴史・文化が守られる、これらが次世代に続いていくこと

「**安らぐ**」は、人や地域のつながりから生まれる心の平穏と、仕事や子育て、必要な生活基盤等が整い、日々の生活が守られることで生まれる安心感・幸福感

町民にとって心地よく、この地域ならではの幸せが実感できるまちをつくることで、「**ずっと住みたい**」と感じてもらえる「**美しきふる里**」を目指します。

# 01

## まちづくりの理念・目標

**サステナビリティ (sustainability)** は、「持続可能であること」

**ウェルビーイング(well-being)**は、

「身体的、精神的、社会的に良好な状態」という意味ですが、個人が自身で感じる主観的な「幸福感、満足感」だけでなく、客観的な側面である生活環境、健康、教育、雇用などの充実度も含みます。

どちらも近年のまちづくりにおいては**重要なキーワード**となっています。

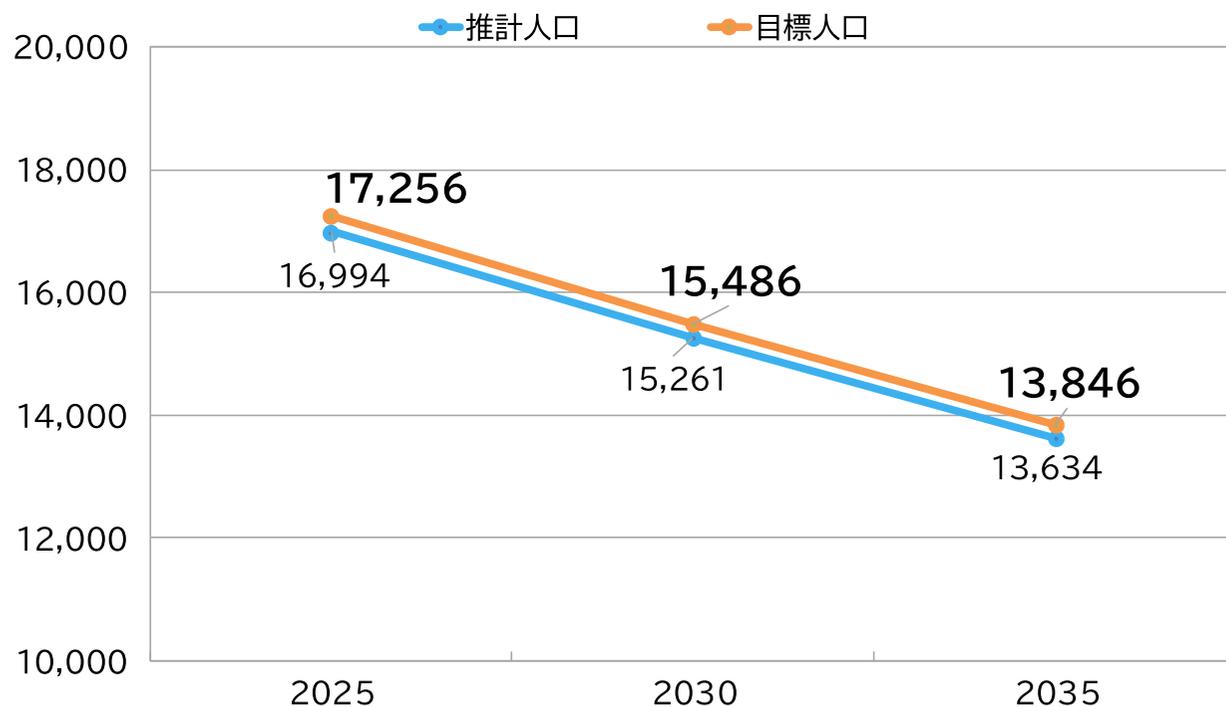
地域のサステナビリティを高め、住民のウェルビーイングを向上させることで、特に若い世代に「選ばれる町」を目指します。

## 推計人口及び目標人口

会津美里町の総人口は、

令和17年(2035年)には13,634人と予測されています。

これからの10年間も引き続き人口減少対策に取り組めます。



令和17年  
(2035)年の  
目標人口  
14,000人程度

## 02

# 将来像を実現する政策の柱

## ウェルビーイング

ウェルビーイングの視点を踏まえて、まちが目指す姿を整理しました。



ウェルビーイングとは、身体的にも、精神的にも、そして社会的にも満たされた「健康」な状態のことです。

# 政策1 安心・安全で快適な生活環境のまち

## ワークショップから見る町の魅力

- ・風景・山・空がきれい、土地が広い
- ・夜が静か
- ・地域の結びつきが強い
- ・通勤通学の混雑がない

## アンケートから見る町民の生活実感

- ・生活利便性が住みやすさを決める大きな要因の一つ
- ・「環境に気を使って生活している」が7割
- ・「災害時の備えができています」が4割
- ・「生活に必要な基盤が整っている」が7割

## まちの課題

- ・循環型社会の構築に向け、さらなる意識向上とゴミ減量等が必要。
- ・インフラ施設の老朽化が進み、更新等がこれまで以上に困難となることが予測される。
- ・災害の少ない本町でも、気候変動による災害に備えることが必要。

## ウェルビーイングの視点

幸福度に影響する主な要素

- ・空気や水が澄んでいて身近に自然を感じる。環境への取組がさかんである。
- ・心地よく歩ける場所があり、歩道や信号が整備されている。公共交通機関で好きな場所に移動できる。
- ・防犯対策が整っていて、治安がよく安心できる。

## 政策1 安心・安全で快適な生活環境のまち

### 目指す姿

#### 1-1 生活環境の保全

ゼロカーボン社会の実現に向けた地球温暖化対策やごみ減量化等の意識が高まり、環境にやさしいライフスタイルが広がっています。

#### 1-2 生活基盤の充実

町民が快適に過ごすために必要な生活基盤が整っています。

#### 1-3 防災・防犯体制の充実

防災や防犯への意識の向上と備えの充実が進んでおり、地域で支え合う体制も整っています。

## 政策2 健やかに生きる支え合いのまち

### ワークショップから見る町の魅力

- ・人がやさしく挨拶をしてくれる
- ・だいたいみんな知り合い
- ・大きな病院が比較的近くにある

### アンケートから見る町民の生活実感

- ・「子育てしやすい環境の町」が6割
- ・「保健や医療体制に満足している」が7割
- ・「習慣やしきたりによる男女の不平等感を感じている」が3割

### まちの課題

- ・生活習慣病の予防や日常のストレス軽減のための取組が引き続き必要。
- ・高齢化率の予測を踏まえ、介護・福祉サービス等の充実や介護予防の取組が必要。
- ・子育て需要に応じたきめ細やかな子育て支援の取組が引き続き必要。
- ・誰ひとり取り残さない社会の実現に向け、支え合う人間関係の構築や多様性への理解が必要。

### ウェルビーイングの視点

幸福度に影響する主な要素

- ・医療機関が充実している。身体的・精神的に健康な状態である。
- ・介護や福祉施設のサービスが受けやすく、自分や家族が高齢になっても安心して暮らしていける。
- ・子どもたちがいきいきと暮らしている。子育て支援・補助が手厚く、身近に相談できる人がたくさんいる。
- ・女性や若者が活躍しやすく、多様な考え方やライフスタイルを受け入れる雰囲気がある。

## 政策2 健やかに生きる支え合いのまち

### 目指す姿

#### 2-1 保健体制の充実

心身の健康や病気予防の意識が高まっており、町民が主体的に健康づくりに取り組んでいます。

#### 2-2 高齢者福祉の充実

高齢になっても健康の維持や社会参加に努めており、地域で高齢者の見守りを行っています。

#### 2-3 子育て支援の充実

子育ての不安や負担が軽減され、地域全体で子育てをする意識と体制が整っています。

#### 2-4 支え合いと多様性の尊重

誰もが尊重され、多様性を認め合う社会づくりが進み、障がい者も積極的に社会参加しつつ、自立した生活を送っています。

## 政策3 活気ある産業と賑わいのまち

### ワークショップから見る町の魅力

- ・本郷焼が人気
- ・名産がいっぱいある
- ・ごはん・野菜が美味しい
- ・知られていない観光資源が多くある

### アンケートから見る町民の生活実感

- ・農業の振興は、重要度が高く満足度が低い
- ・商工業の振興は満足度が低い
- ・中学生の将来チャレンジしたいこと・なりたいもの  
看護師・保育士・野球選手など

### まちの課題

- ・農業者の高齢化を踏まえ、デジタル等も活用した効率化や担い手の確保が必要。
- ・質の高い雇用の場の提供や観光客の受け入れ体制の強化等が必要。

### ウェルビーイングの視点

幸福度に影響する主な要素

- ・おいしい農産物がたくさんある。空気や水が澄んでいて身近に自然を感じる。
- ・日常の買い物に不便がなく、楽しめる場所が充実している。やりたい仕事を見つけやすく、新たな挑戦成長をするための機会がある。

## 政策3 活気ある産業と賑わいのまち

### 目指す姿

#### 3-1 農林業の振興

農業や林業の担い手が確保され、生産性や収益性の高い安定した農林業経営により、農地や森林が適切に保全されています。

#### 3-2 商工観光業の振興

町内での就業の場が増えるとともに、まちなかに賑わいが生まれています。また、豊かな観光資源が活用され、多くの人々が町を訪れています。

## 政策4 未来を育む学びのまち

### ワークショップから見る町の魅力

- ・部活が強い
- ・小学生のあいさつが良い
- ・寺社仏閣が多い
- ・歴史あるお祭りが長く続いている

### アンケートから見る町民の生活実感

- ・「日頃から目標を持って学習を行っている」が3割
- ・「日頃から運動・スポーツをしている」が4割
- ・「町の歴史や文化への興味・関心がある」が6割

### まちの課題

- ・多様化する社会に対応し自ら考えられる子どもを育むことが必要。
- ・人生100年時代を生きていくため、仕事以外の生きがいや学習機会を提供することが必要。
- ・後継者不足などで継続が難しくなる地域文化を保全することが必要。

### ウェルビーイングの視点

幸福度に影響する主な要素

- ・教育環境(小中学校)が整っている。
- ・学びたいこと学べる機会や気軽にスポーツに取り組める機会がある。同じ趣味の活動を一緒にできる仲間がいる。
- ・文化・芸術・芸能が盛んである。

## 政策4 未来を育む学びのまち

### 目指す姿

#### 4-1 子ども教育の充実

質の高い教育が行われ、子どもたちは確かな学力とバランスのとれた人間性・社会性を身につけています。

#### 4-2 生涯学習・スポーツの推進

生涯学習やスポーツの機会が多く提供されており、日頃から町民が自主的に取り組んでいます。

#### 4-3 地域文化の振興

地域の歴史文化が適切に保存・継承されており、その魅力を多くの町民が認識し誇りを持っています。

## 政策5 地域とともに歩むまち

### ワークショップから見る町の魅力

- ・だいたいみんな知り合い
- ・住民の地元愛が強い
- ・地域おこし協力隊が一生懸命

### アンケートから見る町民の生活実感

- ・「何らかの地域活動に参加している」が5割
- ・「隣近所で支えあって生活している」が7割

### まちの課題

- ・これまでの取組に加えて、さらに多様な地域づくりの取組や連携が必要。子どもたちの郷土愛や都心居住者の田舎志向を活かして移住・定住を促進することが必要。

### ウェルビーイングの視点

幸福度に影響する主な要素

- ・地域の雰囲気は心地よく、地域活動への住民参加は盛んだが、望まない活動に強制されることはない。
- ・適度な費用で住居を確保できる。若者や他地域から来た人たちが活躍しやすい雰囲気や、日常的に新たな出会いの機会がある。

## 政策5 地域とともに歩むまち

### 目指す姿

#### 5-1 地域づくり・多様な連携の推進

地域コミュニティの活動が活発化し、多様な主体の連携による自主的な地域づくりや課題解決の取組が進んでいます。

#### 5-2 移住・定住の促進と交流・関係人口の拡大

移住・定住や交流・関係人口が増加するとともに、若者が希望どおりに結婚できる環境が整っています。

## 重点プロジェクト

第4次総合計画においても第3次総合計画の考え方を引き継ぎ、5つの政策の柱に加えて、町の将来像を実現するための重点プロジェクト「みさと未来創生プロジェクト」を設定します。

### みさと未来創生プロジェクト

～人口減少に負けない持続可能な未来を実現するための3つの取組～

# I 人口減少を緩やかにする地域創生プロジェクト

移住・定住施策や結婚支援、子育て支援施策を引き続き重点的に推進し、人口の社会減及び自然減両面の緩和を図ります。

## 総合戦略との関係

基本目標1  
地方に仕事をつくる

基本目標2  
人の流れをつくる

基本目標3  
結婚・出産・子育ての  
希望をかなえる

## 関連する施策

2-3  
子育て支援の充実

3-1  
農林業の振興

3-2  
商工観光業の振興

5-2  
移住・定住の促進と交流・  
関係人口の拡大

## 想定される主な取組

- ・児童福祉施設の機能充実
  - ・子育て世帯への経済的支援
  - ・妊娠、出産、子育てに対する支援
  - ・農業の担い手の確保・育成、  
農地の保全及び耕作放棄地対策
  - ・森林資源の活用と林業の効率性向上
  - ・観光資源の磨き上げ、観光まちづくり  
体制の確立
  - ・まちなかの賑わい創出
  - ・雇用環境の維持・確保、創業支援
  - ・移住・定住の促進
  - ・結婚の希望を叶える支援
  - ・交流・関係人口の創出
- など

## Ⅱ 特色ある持続可能な地域づくりプロジェクト

地域の多様なつながりや活力を再生・創出することで、それぞれの特色を生かした持続可能な地域づくりを進めます。

### 総合戦略との関係

基本目標4  
魅力的な地域をつくる

### 関連する施策

2-2  
高齢者福祉の充実

5-1  
地域づくり・  
多様な連携の推進

### 想定される主な取組

- ・小さな拠点、地域運営組織の  
設立・運営支援
- ・集落・コミュニティ機能の維持活性化
- ・地域活動の支援、まちづくり人材の  
育成
- ・地域における集いの場の設立・  
運営支援 など

## Ⅲ 未来を担う人づくりプロジェクト

次代を担う人材育成を推進し、ソフト・ハード両面から教育環境の充実を図ります。

### 関連する施策

4-1 子ども教育の充実

4-2 生涯学習・スポーツの充実

### 想定される主な取組

- ・幼小中教育の連携による学びの基礎力の育成
- ・地域学校協働活動の充実・拡大
- ・幼児教育の質の向上と保育環境の充実(施設整備)
- ・ICT教育の一層の推進
- ・特別な支援を必要とする子どもへのきめ細かな支援の充実  
など

# 03

## 政策体系

政策体系とは、将来のまちづくりを進めるための基本的な枠組みのことです。

将来像を実現するために、施策を体系的に整理・構造化しました。



重点  
プロジェクト

Ⅰ 人口減少を緩やかにする地域創生プロジェクト  
Ⅱ 特色ある持続可能な地域づくりプロジェクト  
Ⅲ 未来を担う人づくりプロジェクト

政策	施策	町の主な取組
政策1 安心・安全で快適な 生活環境のまち	1-1 生活環境の保全	①ゼロカーボン社会の実現に向けた意識向上 ②公衆衛生の向上 ③廃棄物の減量と再資源化の促進 ④不法投棄の監視体制の強化 ⑤空き家等の適正管理の促進
	1-2 生活基盤の充実	①安全で快適な道路の確保 ②計画的な都市づくりの推進 ③公園の整備と適正な維持管理 ④公営住宅の適正な維持管理 ⑤上水道施設の計画的な更新と適正な維持管理 ⑥下水道への接続促進と施設の適正な維持管理 ⑦持続可能な公共交通体系の構築と公共交通の利用促進 ⑧情報通信基盤の適正な管理
	1-3 防災・防犯体制の充実	①町民の防災意識の向上と地域防災力の強化 ②消防団員の確保と育成 ③災害に強いまちづくりの推進 ④交通安全意識の向上 ⑤防犯対策の推進
政策2 健やかに生きる 支え合いのまち	2-1 保健体制の充実	①生活習慣病の発症・重症化予防を中心とした健康づくり ②運動習慣の定着に向けた支援 ③こころの健康相談体制の充実 ④広域連携も含めた医療体制の充実
	2-2 高齢者福祉の充実	①介護予防の基盤強化 ②高齢者の健康づくり ③高齢者福祉サービスの充実 ④認知症対策の充実
	2-3 子育て支援の充実	①母子保健と児童福祉の連携強化 ②子育て支援センター、児童クラブ等の児童福祉施設の機能充実 ③子育て世帯への経済的支援
	2-4 支え合いと多様性の尊重	①包括的な支援体制の充実 ②障がい福祉サービスの充実 ③多様性を認め合う社会の実現
政策3 活気ある産業と 賑わいのまち	3-1 農林業の振興	①農業の担い手の確保・育成 ②農地の保全及び耕作放棄地対策 ③農業経営の安定化 ④環境に配慮した農業の推進 ⑤有害鳥獣被害対策の強化 ⑥森林資源の活用と林業の効率性向上
	3-2 商工観光業の振興	①まちなかの賑わい創出と質の高い雇用環境の維持・確保 ②後継者の育成と事業承継の推進及び創業支援の充実 ③観光資源の磨き上げ及び情報発信の強化と誘客受入体制の充実 ④観光まちづくり体制の確立
政策4 未来を育む 学びのまち	4-1 子ども教育の充実	①幼児期から一貫した学びの基礎力の育成と学力の向上 ②個に応じた指導体制等の構築 ③学校施設・設備の計画的な更新・維持管理 ④地域とともにある学校づくりと学校を核とした地域づくりの推進 ⑤幼児教育・保育環境の充実
	4-2 生涯学習・スポーツの充実	①町民の生涯学習の機会づくり ②家庭での教育力の向上 ③地域と学校の連携強化 ④生涯スポーツの推進 ⑤スポーツ施設等の適正な維持管理
	4-3 地域文化の振興	①子どもたちの町への愛着を育む機会づくり ②文化財を活用したまちづくり ③郷土資料館の活用 ④文化財の保存と地域文化の継承
政策5 地域とともに 歩むまち	5-1 地域づくり・多様な連携の推進	①町民主体のまちづくり活動の活性化 ②集落機能の維持活性化 ③広域連携・官民連携の推進 ④高校や大学その他の研究機関等との学官連携の推進
	5-2 移住・定住の促進と 交流・関係人口の拡大	①移住・定住の促進 ②結婚の希望を叶える支援 ③地域おこし協力隊を活用した地域活性化の促進 ④ふるさと納税を活用した関係人口の創出 ⑤空き家等の利活用促進 ⑥友好・姉妹都市との交流